大島商船高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	卒業研究
科目基礎情報					
科目番号	0060		科目区分	専門 / 必修	
授業形態	実習		単位の種別と単位数	履修単位: 6	
開設学科	商船学科		対象学年	5	
開設期	通年		週時間数	6	
教科書/教材					
担当教員	古本 啓二, 岩崎 寛希, 朴 鍾徳, 木村 安宏, 久保田 崇, 杉本 昌弘, 中村 泰裕, 村田 光明, 浦田 数馬, 森脇 千春, 山口 伸弥, 渡邊 武, 千葉 元, 浦田 清, 川原 秀夫, 清水 聖治, 角田 哲也, 前畑 航平, 小林 孝一朗, 石田 依子				
到達目標					
卒教研究では、技術者としての研究能力、開発能力、就職後の即戦力として活躍できる実践的な能力を養うことを目的としている。学生は各研究室へ配属され、指導教員から、研究に関する指導を直接受ける。中間発表、最終発表の2回の研究発表を実施するとともに、卒業論文の執筆が義務付けられている。 具体的な学習目標は以下の通りである。 (1) 技術者としての研究能力、開発能力と養い、論文作成方法、および発表スキルを修得することができる (2) 創造的な研究活動を通じ、就職後の即戦力として活躍できる実践的な能力を修得することができる					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
到達目標 1	技術者としての研究能力、開発能力と養い、論文作成方法、および発表スキルを修得することができる、それぞれが十分なレベルに達している		技術者としての研究能力、開発能力と養い、論文作成方法、および発表スキルを修得することができる		技術者としての研究能力、開発能力と養い、論文作成方法、および発表スキルのいずれも修得できない
到達目標 2	創造的な研究活動を通じ、就職後の即戦力として活躍できる実践的な能力を修得することができ、それが十分なレベルに達している		創造的な研究活動を通じ、就職後の即戦力として活躍できる実践的な能力を修得することができる		創造的な研究活動を通じ、就職後の即戦力として活躍できる実践的な能力を修得することができない
学科の到達目標項目との関係					
本校 (1)-a 商船 (2)-a					
教育方法等					
概要	卒教研究では、技術者としての研究能力、開発能力、就職後の即戦力として活躍できる実践的な能力を養うことを目的とし、学生は各研究室へ配属され、指導教員から、研究に関する指導を直接受ける。				
授業の進め方・方法	各教員が研究テーマの取組姿勢・目標達成度・発表等を考慮して評価する。				
注意点					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	配属された各担当教員のもとで与えられたテーマに対して研究を行い、自らが率先して課題などに取り組む。		
		2週			
		3週			
		4週			
		5週			
		6週			
		7週			
		8週			
	2ndQ	9週			
		10週			
		11週			
		12週			
		13週			
		14週			
		15週			
		16週	中間発表		
後期	3rdQ	1週			
		2週			
		3週			
		4週			
		5週			
		6週			
		7週			
		8週			
	4thQ	9週			
		10週			
		11週			
		12週			
		13週			
		14週			